

令和元年度（第13期第6回）小平市廃棄物減量等推進審議会  
会 議 次 第

令和2年3月19日（木）  
午後2時  
リサイクルセンター2階  
多目的ルーム

1 開 会

○資料確認・説明

2 部長挨拶

3 事務局報告

- (1) イベント開催報告について
- (2) 家庭ごみ有料化及び戸別収集によるごみ量等の推移について

4 議 事

○答申書案の検討について

5 その他

6 閉 会

諮問事項

---

- 「ごみの減量・資源化に向けた今後の施策のあり方について」
- 「ごみ減量・資源化に向けた市民・事業者・行政の協働のあり方について」

配付資料

---

- 1 「ごみの減量・資源化に向けた今後の施策のあり方について及びごみの減量・資源化に向けた市民・事業者・行政の協働のあり方について」（答申） 

資料 1
------
- 2 イベント開催報告について 

参考資料
------
- 3 家庭ごみ有料化及び戸別収集によるごみ量等の推移について 

参考資料
------

事務局	会議に先立ちまして、事務局からの注意事項として、本日は皆様にはマスクの着用をお願い致します。また途中5分間の換気休憩を行います。
会長	ただいまから、第6回の審議会を開催いたします。 本日は新型コロナウイルス対策の観点から、市全体としての対応ですが、傍聴はお断りして開催いたします。
会長	なお、本日は急な日程変更もありましたので、4名の方から、欠席の連絡を頂いております。
会長	はじめに事務局から、配付資料の説明をお願いします。
事務局	最初に、「会議次第」と書かれておりますA4判1枚のものです。 次に、A4判2枚の右上に資料1と入った「ごみの減量・資源化に向けた今後の施策のあり方について及びごみの減量・資源化に向けた市民・事業者・行政の協働のあり方について」(答申)です。 次に、A4判両面1枚の参考資料「家庭ごみ有料化及び戸別収集によるごみ量等の推移について」です。次に、A4判1枚の参考資料「イベント開催報告」があります。最後に、年に1回資源循環課で発行している「ごみらいふ」という新聞です。 資料につきましては以上です。
会長	次に環境部長からお願いします。
事務局	前回の9月以降の市の行政につきまして報告いたします。 2月末現在の総ごみ量は、前年同期比で16.8パーセントの減となり、目標値10パーセント・予測値15パーセントを達成する見込みです。課題としては、プラスチック製容器包装への異物の混入が多く、中でもリチウムイオン電池が特に危険であることから、手選別の負担が大きくなっております。
会長	それでは事務局報告をお願いします。
事務局	それでは、まず「イベント開催報告について」です。 **事務局から報告**
事務局	次に「家庭ごみ有料化及び戸別収集によるごみ量等の推移について」の説明を行います。 **事務局から報告**
会長	では質問等がありましたら、簡潔にお願いします。
副会長	まず、イベント報告で食物資源循環協力農家の野菜販売とありますが、「食物資源循環事業で作った」というようなラベリングはされていますか。ヘラスンジャーのラベルを付けるとか、分かり易くすることが大事だと思います。 次に、ペットボトルが34.3パーセント減ったとありますが、例えば小売店の回収分に混ざっている事が考えられます。具体的に小売店のリサイクル量が、この分増えているなどのデータはありますか。

事務局	この表記については、「食物資源循環協力農家の生産による小平産野菜」となっています。実は有料化の直後で、堆肥の供給が間に合わず、この回については食物資源循環堆肥を使っていないため、「協力農家による小平産野菜」として販売してまいりました。なお、それ以降は早めに循環堆肥を供給して、「食物資源循環野菜」の生産ができています。今後は、大きく「循環」をPRできるような方策を考えます。
事務局	2点目について、特にデータはありませんが、昨年、東大和市の全セブンイレブンにペットボトルの回収機が設置され、同市の行政回収量が10パーセント減っております。小平から出された物が若干入っているかも知れません。また、小平市もセブンイレブンと調整中で、来年度中には回収機を設置できるかと思えます。
会長	他に質問はありますか。
委員	資料では、燃やさないごみが大幅に減っています。収集頻度が週1回から4週に1回になっている事もあり、店頭回収が大きく貢献しているのではないですか。
事務局	店頭回収は、プラスチック製容器包装等なので、燃やさないごみの量に直接は関係しないと思いますが、小型家電や陶磁器の回収量が非常に増えていますので、これが燃やさないごみの減量に貢献していると思います。
会長	それでは、本日の議題「答申書案」の検討を行います。
事務局	委員の皆様には、これまで様々な角度から議論・検討を頂きました。この答申案は、それらを元に作成いたしました。それでは説明いたします。 (主な説明) 答申案の(1)について、エコショップの今後の展開については、市民や議会に注目されているところです。 (2)について、令和2年度の予算で拡充が認められ、現在待機している方は全員が参加できる見込みになりました。 (3)について、答申を追い風としてさらに拡充し、ごみ減量の意識を醸成したいとの趣旨です。 (4)について、事業系の処分費が上がれば資源に回る量が増えるのではないかという意見がありました。 (5)について、昨年、東大和市でセブンイレブンにペットボトルの回収機を設置したという事例がありました。 (6)について、クリーンメイトにイベントへの協力や、施設見学のアシスト等をお願いしつつ、将来的には新たな市民協働の組織の母体となるように考えております。 (7)について、多種多様なボランティア主体と連携し、将来的にはリサイクルセンターを3Rや環境学習の発信拠点とすることを目指したいとの趣旨です。 説明は以上です。
会長	それではここで、会場の換気を兼ねて休憩を取りたいと思います。

	***** 休 憩 *****
会長	答申案の説明について、皆様からご意見をお願いします。
委員	<p>食物資源循環事業については、収集運搬の手間がある上に市外で処理されている。米ぬかを使った自宅での堆肥化等も考慮願いたい。</p> <p>次に、ペットボトルの資源化は市が出資するのですか。これについては、ポイント制が普及に効果があると考えています。また高齢単身者のごみ問題ですが、他市では分別が分からずに、溜め込んでいる例をよく耳にします。</p> <p>なおイベントの企画などで、この施設を訪れたい魅力高め、啓発につなげていくと良いと思います。</p>
事務局	<p>自宅での堆肥化については、当課の事業で堆肥化講習会を毎年実施しているほか、生ごみ処理機の購入費補助金など、多様な手法でごみ減量を推進しています。</p> <p>単身高齢者のケアについては、元々クリーンメイトが、地域の指導を役割としていましたので、今後もボランティア活動の中で継続して行きます。</p> <p>また施設の魅力についてですが、我々のリサイクルセンターにも、多くの見学があるため、今後は休憩できるような場所を用意できないか、検討していきます。</p>
事務局	ペットボトルの店頭回収の件ですが、現在セブンイレブンとポイント付与も含め調整中です。
会長	小村大の新施設には、勉強したり休憩できるような機能はありますか。
事務局	<p>令和7年度に完成の新施設は、学習機能に加え屋外にベンチ等を設置し、隣接した足湯も含めて、散策する人も楽しめる機能も持たせたいと考えています。</p> <p>ただ工場ですので、飲食等はできないと思いますが、コンセプトとして休憩できる機能を持たせたいと思います。</p> <p>また、搬入出の出入りが多いので、動線確保の問題も検討してまいります。</p>
会長	最近の施設では、予約制ではなく、気楽に訪れることができるものが多いようです。
委員	旧リサイクルセンターの跡地が公園になりますが、そこに休める施設を作れないですか。
事務局	公園というより原っぱのようなイメージで、芝を植え、周遊路とベンチを設けます。
委員	この審議会で出た意見により、答申案の修正がなされるのでしょうか。
事務局	内容を精査して、反映出来る内容は反映出来ればと思いますが、時間もないため、会長と相談しながら答申をまとめていきたいと思っています。
委員	<p>本答申案については、抜きん出たものがない気がします。</p> <p>例えばコンポストについて、容器そのものを回収することはできないか。</p>

事務局	<p>現行の食物資源循環事業では、容器内の内袋ごと回収するようにしています。バケツは残さないと次回に入れることができませんので。</p>
会長	<p>バケツを回収するものは集中型事業、各家庭にコンポストを持つものは分散型事業と言いますが、分散型においては出来た堆肥の利用法が重要となります。</p> <p>また、インセンティブについては、出来た堆肥を行政で受け入れる仕組みや、金沢市、新潟市ではポイントを付与したり、多摩市では可燃ごみ用の「生ごみ入れません袋」の付与で奨励しています。インセンティブには積極的に取り組んで下さい。</p>
委員	<p>行政によるちょっとした呼び水で良いと思う。行政としてアンテナを張ってアイデアを探して欲しい。</p>
事務局	<p>インセンティブについては、以前より「環境ポイント」の付与事業を実施しており、また市には「健康ポイント」という事業もあります。導入には魅力的である事と財政的負担が少ない事も重要です。</p>
委員	<p>私はクリーンメイトのメンバーですが、高齢化が課題となっています。今後は民生委員や自治会、ヘルパーとの連絡を強化することが必要と考えます。</p> <p>また有料化に伴い活動内容が変わった事も、大きな検討課題だと思っています。</p>
事務局	<p>クリーンメイトに限らず、様々な団体の高齢化が進んでおり、世代の更新を図らなければならないことは、重要な課題だと認識しています。</p>
副会長	<p>エコショップについては、小盛りの推奨やドギーバッグといった、飲食店の取り組みも評価に入れてみてはと考えます。また乾燥型生ごみ処理機は、CO<sub>2</sub>の排出があるため、総合的に見て環境に良いものを啓発する事が大切です。</p> <p>なお生ごみ資源化の19.6トンとは、どのように把握したのですか。</p>
事務局	<p>食品ロス削減法が昨年成立したこともあり、自治体の食品ロス削減への取り組みは今後注目されると思います。ドギーバッグは、持ち帰り後の食中毒の問題もあり、店舗が導入を控えている事情もあります。</p> <p>また生ごみ処理機は、乾燥型が最も人気ですが、CO<sub>2</sub>排出もあるため、総合的な啓発を考えていきたい。なお19.6トンは、理論上の数値で、組成分析の数字を元に、可燃ごみ排出量と生ごみの割合、処理機の申請台数等から算出しております。</p>
委員	<p>答申案には、これまでの会議の総括や評価が盛り込まれていない。また答申の構成も、「今後の施策」についてはこの答申、「市民協働のあり方」にはこの答申といった分け方が良いのでは。私は会社経営をしているが、課題の明確化とその対策という流れで仕事をしている。その方が分かり易いと思う。</p>
事務局	<p>審議会の総括は設けてはいませんが、答申案は、各回のご意見を参考に作成しています。ただ、検討課題によって議論が深まったものと、そうでないものがありました。また今後は、経営手法的なPDCAサイクルも参考にしたいと思います。</p>

委員	自治会など、現存する活動組織との連携から具体策を得てはどうか。
事務局	有難いご意見です。市としまして、自治会に負担をかけすぎないように注意深くなっている面はあります。ただ災害時も含め、地域の力を借りないと対応できないのが現実なので、今後も自治会との有効な連携方法を模索していきます。
会長	先ほども指摘があった「評価」ということは大事なので、答申案の「はじめに」の文章に評価を追加してはどうか。具体的には「有料化及び戸別収集へ移行した」の後ろに、「その結果ごみ量がどうなったか」という点を盛り込むと、その後の更なる資源化や減量に取り組むという所に繋がります。事務局で案文を検討願います。
委員	植栽ボランティアというものがあり、個人で作った腐葉土を持参しています。資源循環事業の堆肥もそういう場面で有効ではないか。ボランティア活動やニーズを把握して、出口と入り口がマッチするようにお願いします。
副会長	マッチングの点では、小平は23区ほど密集していないので、堆肥の需要はあると思われれます。
会長	多摩市では、集合住宅比率が70%を超えているため、段ボールコンポストに重点を置いています。EM菌のボカシは臭いが出るが、「キエーロ」は大変使い易い。 生ごみ資源化は、リサイクル意識向上には効果があるが、報われないものです。 ただ、費用削減やCO2削減など社会貢献を見える化すれば、十分なインセンティブになると思います。
事務局	生ごみコンポストの「キエーロ」は補助金対象になります。今後も様々な手法を研究していきます。
会長	意見も出尽くしたようです。次回の審議会は市長への答申になりますので、今後の答申案の修正については、会長一任とさせていただきます
委員	(複数の委員より異議なしの声あり)
会長	それでは事務局より、その他の報告事項をお願いします。
事務局	今後は、会長と事務局で答申書をまとめて参りますが、他にもご意見がありましたら、今月中にご連絡頂ければ、出来る限り答申に反映したいと思います。  *****その他、4月異動職員の紹介あり*****
会長	では、次回の日程について事務局から報告をお願いします。
事務局	次回、第7回目の審議会は、市長出席で答申を行う関係で、予め日程を5月14日(木)の午後に決めさせて頂いております。こちらの都合で恐縮ですが、よろしくお願い致します。

	委員の皆様には、開催日の1週間ほど前を目途に開催通知を送付いたします。
会長	それでは、次回の第7回審議会は、5月14日（木）14時からとさせていただきます。
会長	これで閉会といたします。
	～ 散 会 ～